



鶉地区社会福祉協議会



うずらサロンのお花見

今年度から、デイホームの名称を「うずらサロン」に改め、4月6日に鶉公民館でお花見を開催しました。最初に、東日本大地震で被害にあわれたかたがたに黙禱を捧げました。

鶉地区の桜はつぼみが膨らんだところでしたが、会場は花桃、水仙、椿などがいけてあり春満開でした。

和やかな会食のあと、大正琴を聴きながら一緒に口ずさんだり、ゲームをしたりしました。

楽しそうな皆さんの笑顔を見ると、花が咲いているように感じました。

このお花見をとおして、鶉地区の皆さんが交流し絆を深めていただけたらと思います。

鶉地区専任職員 山本 智保子

清水東地区社会福祉協議会



アシサイ作り

清水東地区デイホームでは、紙粘土とフェルトを使って、アシサイをつくりました。

男性の参加も多く、ご夫婦で参加されている方もいますが、足の具合に合わせて、テーブルと座卓のどちらでも座っていただけるようにしています。

花びらに見立てたフェルトを紙粘土に刺したりと細かい作業が多かったのですが、花びらの色を周りの人と交換したり、花びらに変化をつけたりと、思い思いのアシサイを作っていました。

色とりどりのアシサイが出来、「かわいらしいの〜」と話す中には「おいしそう」「和菓子みたい」などと話す利用者もおり、皆さんの笑いを誘っていました。

清水東地区専任職員 松本 まり子

